

「PED防疫対策の再徹底」

10月に三重県、愛知県でPEDの発生がありました

愛知県内のPED発生状況(H27.9～)

例数	農場所在地	発生日 (遺伝子検査陽性)	飼養頭数	発症頭数 (通報時)	死亡頭数	平成26年2月からの情報	
						例数	備考
1	美浜町	H27. 9. 14	3, 600	哺乳豚約10頭	約20頭	88	77例目と同一農場
2	田原市	H27. 10. 5	1, 000	肥育豚約40頭	なし	89	83例目と同一農場
3	田原市	H27. 10. 7	2, 700	肥育豚 5頭	なし	90	19例目と同一農場
4	田原市	H27. 10. 16	1, 400	肥育豚約100頭	なし	91	74例目と同一農場
5	田原市	H27. 10. 16	1, 600	肥育豚約240頭	なし	92	68例目と同一農場
6	田原市	H27. 10. 20	1, 500	肥育豚約70頭	なし	93	64例目と同一農場
7	田原市	H27. 10. 29	2, 400	肥育豚約50頭	なし	94	67例目と同一農場
合計			14, 200	515	20	発生実農場数：64農場	



全国のPED発生状況 (H27.9～)

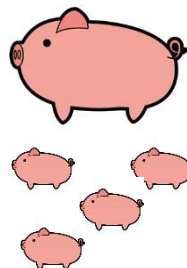
発生都道府県	初発事例確認日	発生件数	発症頭数	死亡頭数	頭数の最終確認日
千葉県	平成27年10月15日	1	20	0	平成27年10月15日
茨城県	平成27年10月1日	2	1,470	0	平成27年10月13日
愛知県	平成27年9月14日	7	515	20	平成27年10月29日
三重県	平成27年10月5日	1	119	9	平成27年10月22日
宮崎県	平成27年9月26日	1	100	0	平成27年10月6日
鹿児島県	平成27年10月21日	1	440	0	平成27年10月23日
合計		13	2,664	29	



PEDは冬季に発生が増加します

飼養衛生管理の徹底

- ・関係者以外の農場への立入制限
- ・人及び車両の出入りの際の消毒の徹底
- ・排泄物のこまめな処理、豚舎消毒の徹底
- ・豚舎専用長靴、衣服の使用
- ・ネズミ、野生動物等の侵入防止
- ・消毒は糞などを除去してから、適切な濃度の実施
(一般的に消毒薬は、冬場は夏場より濃い濃度が必要です)
- ・農場を訪問する獣医師、飼料運送業者、死亡畜取扱い業者にも、長靴、衣服の更衣、手指消毒、車両、パレット消毒の徹底



ワクチン接種の徹底



国内で使用しているワクチンは、国内で流行しているPEDに有効です

☞ ワクチンの効果を十分引き出すために

- ①衛生管理の徹底(不衛生な環境では母豚の抗体が上昇しにくいです)
- ②母豚へのストレス低減
- ③母豚が十分に乳汁をだしているか、子豚が十分に哺乳できているか確認しましょう
- ④用量・用法を守りましょう 分娩前2~8週間の間隔で2回注射
(子豚や肥育豚に注射しても効果はありません)

早期通報の徹底

主な症状は、元気消失、食欲不振、嘔吐及び水様性下痢ですが、様々な症状を示すため、TGE、豚口タウウイルス病、大腸菌性下痢、サルモネラ症などとの鑑別が必要です

* 異常を認めた場合は、速やかにご連絡ください

★異常を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

連絡先: 0574-25-3111

土日・祝日・閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は0574-25-3484 にお願ひします

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092